

2日目 9:40～12:10〔150分〕

【演習】障害特性の理解とプランニングⅡ

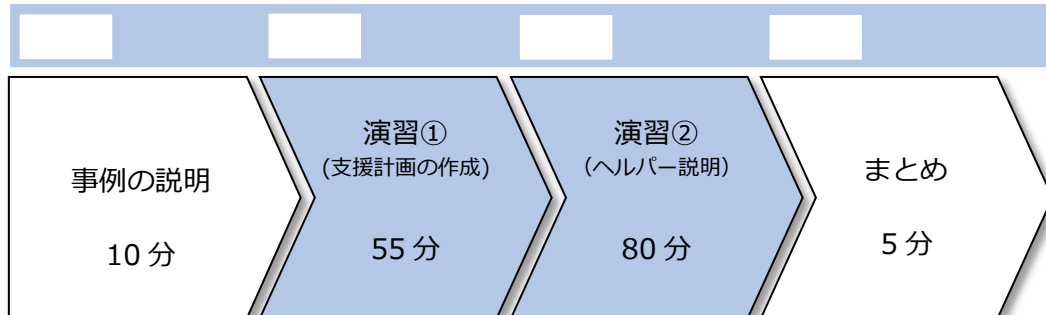
—行動援護を利用した外出時の「支援の手順書」を作成する—

屋内での日中活動の支援とは異なり、外出時の支援には特有の配慮が必要となります。この時間は、「高崎のぞむさん」が行動援護を利用して外出する場面を想定し、自閉症や知的障害の障害特性に配慮した外出時の「支援の手順書」を作るプロセスを学びます。

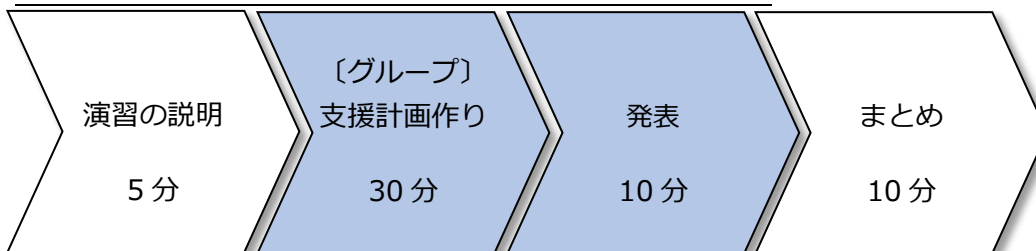
【ポイント】

- ① アセスメントや検討した支援計画が「正しい」かどうかを問題にする時間ではありません。
- ② 外出時の支援で特に気をつけなければいけないポイントを押さえましょう。
- ③ 経験の比較的浅いヘルパーに指示を出す際の留意点を整理しましょう。

【この時間の流れ】



演習①：支援の手順書の作成（バス内の過ごし方を考える）



演習②：支援の手順書を伝える（伝え方を考える）

